

児童の参画意識を高める「ESD集会」

学年ごとに取り組んできた学習活動の概要や、今後の計画を発信する。自分たちの取り組みとESDとのかかわりや、自分たちがこれからできることを明らかにする。

■ 取組のねらいと『ESD』『自分ごと化』との関連

自立

学習活動での取り組み内容や成果を発信し、成就感や達成感を感じる。

共生

全校児童、地域への発表を協働しながら準備、経験することで、参画意識を高める。

■ 取組の内容

- ① 5年生のESD集会「大森第一未来環境ラボ」
地域にあるふるさとの浜辺公園や鎌倉遠足（由比ヶ浜）での水質調査や海ゴミ調べ、石田先生の海洋ゴミについての特別授業をもとに、環境と自分たちの暮らしとのつながりを調べました。環境改善につながる行動計画を提案しました。



未来の海の様子を想像してみましょう。

私たちの町には魅力がたくさんあります。



- ② 6年生のESD集会「未来に残そう、私たちの町」
東京2020大会を契機に国内外から多くの人々が自分たちの町を訪問することを期待し、地域の魅力や特色を紹介する学習計画を立てました。5年間の地域教材を扱った学習内容をSDGsの視点から振り返り、地域の歴史・文化・産業を未来に残していくための行動を考えていきます。

アサガオの花を見に来てください。



- ③ 1年生のESD集会「おおきなあれ わたしのはな」
2年生からもらったアサガオの種をきっかけに植物の栽培を始めました。アサガオは一人一鉢育て、名前を付けて語りかけながら毎日世話を続けました。花が咲いた喜びを他学年とも共有したいと願いをもち、「アサガオランド」を開催しました。

■ 取組の成果

- ESD集会を通して、児童は各学年の学習活動について知り、持続可能な社会の実現に自分たちが主体的にかかわっていくことが大切であると気付くことができました。
- 学年の発達段階に応じた方法や内容で発信をすることで、他学年の学習活動への興味・関心が高まりました。今後の学習活動の見通しをもつきっかけにもなり、校外（保護者・地域・他の学校）とのかかわりにもつながりました。